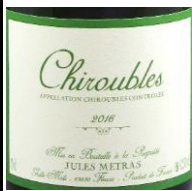


JULES METRAS

Jules Métras
 ジュール・メトラ

Racines 

イヴォン・メトラの長男。ボージュの醸造学校に通いながら、2008年このかた南仏の雄、ル・マゼール、チリのルイ・アントワヌ・リュイット、ニュージーランドでバイオダイナミック栽培を実践するリップン・ヴィンヤードなどで経験を積む。自身の名での初ヴィンテージは2014年。耕作する2haのうち約半分、ボジョレ・ヴィラージュ・ビジュの区画は、故ジュール・ショヴェが所有していた畑で、1970年植樹の古木のみ。別途、クリュ・ボジョレの中で最も標高が高く繊細なワインを生むとされるシルーブルにも1haを耕作する。ともに、フルーリーにある父の醸造所から5km以内の至近距離にあり、栽培は全て実質的なバイオロジック（認証なし）。

	●VdF - Chica チカ			備考	2022年から生産している、買いブドウを含むガメによるキュヴェ。Chicaというキュヴェ名は、スペイン出身のジュールの母親へのオマージュとして名付けた。他のキュヴェよりもマセレーション期間を短く気軽に、あまり瓶熟成を待たずに飲むタイプのガメ。
	畑	品種：ガメ（複数の畑から） 土壌：砂質など	醸造		
	●Chiroubles シルーブル			備考	フルーリーの丘よりも更に標高の高いシルーブルの丘では、一般的に果実は熟しにくいと言われてきた。フルーリーと似たような土壌、急勾配の斜面の土地で、ジュール友人の醸造家、栽培家達とともに、区画を分けて借りている畑。ジュールはそのうち1haを借りている。通常のボジョレにはない骨格は土壌由来のもの。
	畑	品種：ガメ100% 標高：400m 土壌：シスト	醸造		
	●Chiroubles - La Montagne シルーブル ラ・モンターニュ			備考	2017年にジュールが購入した、シルーブルの丘の、ラ・モンターニュ呼ばれる区画。1ha購入し、ボジョレの中でも特に、標高の高い涼しいクリュを選んだのは、近年の温暖化も関係あるのだろう。
	畑	品種：ガメ100% 標高：400m 土壌：シスト	醸造		
	●Beaujolais Vauxrenard - Bijou ボジョレ・ヴォールナル ビジュ			備考	"La Chapelle Chauvet"は、ジュール・ショヴェ氏が所有していた古木の畑を買い受けた区画で、イヴォンの住むヴァールナル村の家の裏にある。キュヴェ名の"ビジュ"は、エレガンスや美しさを称揚する時に使うボジョレ地方の表現。
	畑	品種：ガメ100% 植樹：1970年 位置：標高200m、南東向き 土壌：シスト	醸造		